

## 令和4年度 自己評価並びに学校関係評価報告書

## 1. 本園の教育目標

- ①自分のことは自分でできること
- ②「おはよう」の挨拶ができること
- ③「ありがとう」と、すぐにお礼を言えること
- ④人の目を見て、しっかりとお話を聞けること
- ⑤自分の思ったことを、言葉で伝えられること

集団生活を通して、個々の幼児の自主性を育て、豊かな心、よき生活習慣や人間関係に向かう意欲、態度を培う。環境を通して、頑丈な体を作り、人としての心「素直な心」「くじけない心」「優しい心」「思いやりのある心」を育てられるよう、「バランスのとれた保育と教育活動」を目指す。

## 2. 令和4年度重点的に取り組んだ目標・計画

令和4年度は、令和元年度末から始まったコロナ対策をさらに推し進め、保育や園生活の様々な見直しをしていった。いつもやっているから、例年通りという考えはやめて、ゼロベースで子どもをよく見る。→今の子どもにあった『ねらい』を決める。→『ねらい』を達成させる為に一番大切な事は何・・・という考えで進めていった。行事毎に保護者へのアンケートをとっているの、アンケートで頂くご意見も参考にして生かしている。

また、園児の様子・情報の、教職員間の共有を大切に、連携をさらに深めるよう努め、さらに良い環境作りを心がけている。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	安全管理 (施設設備・園児に対する安全対策)	水害の時の避難訓練の実施は行なえていない。避難先の会社には、園長が確認して、お願いしてあるが、反省点として諸事情により出来ていないので、今後の課題として取り組んで行きたい。なお、洪水時の避難マニュアルは作成した。今後はマニュアルにしたがって実際に避難訓練を行い問題点があれば改善していきたい。
2	教育内容 (保育の計画)	各学年で、園内研修をして、お互いの保育を見て話し合ったり、1日の保育について各クラスの様子や良かった点・悪かった点を話し合ったり、疑問点を教え合ったり、日常の保育についても、毎日各学年で振り返りと反省をして次に向けての課題を考えるということがしっかり出来ている。今後もPDCAサイクル(Plan 計画、Do 実行、Check 測定・評価、Action 対策・改善の一連の流れ)で保育の質を高めていきたい。

3	教育内容 (教職員体制の充実)	2と内容が重なるが、「子どもたちにとって、よりよい保育を」という思いを教職員一人一人が心にとめて、教職員同士サポートしあって保育業務に取り組んでいる。 教職員全員がそれぞれの立場を思いやりながら、指導する立場の人は、下の人がやりやすいように、下の人は上の人をサポートし、自分の考えもしっかり言うということも出来ている。保育に対し、それぞれが熱心に教職員全員でサポートしあう体制ができていて、みんなの意識改革が進んでいるのを感じる。
---	--------------------	--

#### 4.幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

令和4年度は、今までおこなっていたコロナ対策をひきつづき行った。前年度同様、コロナ禍を機会にいろいろな点での見直しを継続し、いろいろな面での無駄を無くすよう努めた。

一日の保育の振りかえり、行事の振りかえりを各学年で行い、良かった点、問題点を出し合い、次に何をどう改善するかというようなサイクルがしっかり定着してきた。園児の情報共有を心がけ、園児一人一人の理解が深まってきた。教員同士の話し合いでは、経験年数に関係なく、どの教員も自分の考えを積極的に発表している。各学年の主任が、みんなが発表しやすい環境を作っている点は、とても良いと思う。

教職員全員が向上心を持ち、同僚性も高まり、より良い保育を目指して力を合わせる事が出来ている点はとても良い。

一方、安全対策については、まだ、教職員が主体となってというところまではできていない。教育課程や指導との関わりが深い部分だけでなく、教育課程以外の学校運営に関する方にも、教職員が意識を向けていくようにしていきたい。

#### 5.今後の取り組むべき課題を考える

	課題	具体的な取り組み
1	教育内容 (教育環境の構成)	幼児が安全で心地よく過ごすことが出来、それぞれの興味、関心、能力に応じて全身を使って活動することが出来る環境を整える為、戸外遊びの時のルールをしっかり教えたり、見守り当番を決めているが、当番がきちんと機能しているか、安全が確保されているかという視点で、教員全員でじっくりと見直し安全な環境を目指していく。
2	保育の在り方、幼児への対応 (健康と安全への配慮)	コロナが5類へ移行し、健康観察カードや行事の体温チェック表も6月からは無くなった。しかし、コロナが完全に収束したわけではないので、今まで以上に、朝の登園児の視診を大切にして、子どもたちの体調をしっかり確かめることを心がける。 また、子どもたちが正しい衛生習慣を身につける事ができるように今後も指導していく。
3	保育の計画性 (保育と計画の評価反省)	園内研修等で、教員同士互いに保育を見せ合い、検討・評価・反省をおこない、教員各自の保育を生かしていくように心がけていく。 各自の保育を振り返り、一人一人が、良い点をより伸ばし、苦手な点は自ら改善していける園内研修にしていき、同僚性をより高めていきたい。

## 6.学校関係者の評価(令和4年度自己評価に基づく)

### ○学校関係者評価・意見

日々変わりゆく情勢に伴い、保育・園生活においても“今”を大切に取組んでくださっていることは、とてもありがたく思っております。

令和元年度から始まったコロナ対策をその時々状況に合わせて実施しながら、子どもたち一人一人をよく見て“今”の子どもたちにあった学年・クラスの目標やねらいを定め、それらを踏まえて一人一人個性に配慮しながら細かくご指導くださり、子どもたちが一生懸命取り組む姿、成長した姿を見る機会となる行事を開催してくださいました。また、行事毎に保護者へのアンケートを実施して、保護者の意見も取り入れ改善につなげてくださっていることはとても良いと思います。引き続き継続していただきたいです。今後はコロナが5類に移行されたので、友だちや先生方と楽しく遊んでいる様子や給食の様子など、子どもたちの普段の姿を見る機会が増えることを願っております。

また、健康観察カードや体温チェック表などが無くなりましたが、子どもたちの生活の様子をしっかりと見てくださり、細かな変化にも連絡、対応して下さり感謝しております。一斉連絡アプリ(バスキャッチ)によって欠席理由ごとの欠席状況などを知ることができ、各家庭でも共有し留意することができるのでありがたく思っております。また必要に応じて園からの連絡も紙面とともに一斉連絡の配信をして頂いたことにより、スムーズな情報共有や見落としを防ぐことにもつながったように思います。

安全対策は、いつ起こるか分からない災害に備えて、日頃から訓練をすることで子どもたちの安全への意識が培われていると思います。

”今“の子どもたちを取り巻く環境を考えると、日頃からの安全対策はとても重要だと思われれます。今後も園と家庭との連携を取り、子どもたちが安全で安心な園生活を楽しく送れるよう努めていただけたらと思います。

教育内容の項目については、愛知県私立幼稚園連盟や名古屋市私立幼稚園協会主催の研修に加えて園内研修や毎日の保育の振り返りで教員同士で保育を見直し、園全体で保育の質の向上、教職員の意識改革に常に努めるよう心がけてくださっていることは、子どもたちにとってもとても良いことだと思います。

音楽面から見た保育については、令和5年5月を境に先生方のマスクが外れ、職員室が一気に明るくなり会話も弾んでいるように見えました。その効果は保育中の園児への対応や音楽指導におけるコミュニケーションにも現れていると感じます。

歌唱指導の発声法、歌詞の表現など豊かな音楽性を伝えることができ、音楽教育の能力向上に繋がりが豊かな情操教育が期待でき、とても喜ばしいことだと思います。

貴園は古くから伝わる名曲の童謡を丁寧に引き継ぎ、忘れてはいけない思いやりの心や日本の美しい季節感を子どもたちに伝えていきます。先生方には、導入を大切にして子どもたちが歌の背景を理解できるように配慮するよう伝えていきます。その中で、現代の新しい曲にも関心を持ち、保育に取り入れている先生も見受けられます。特に、年長は小学校教育のダンス音楽なのにもうまく引き継げるよう、新しい曲にも馴染んでおくことは必要かと思っております。

先生方の日々の取り組みによって、子どもたちが毎日笑顔で安全に園生活を送れているのを強く感じています。

今後も取り組むべき課題の中にもあるように、保育の面だけでなく様々な観点でも評価・反省を継続し、“今”の子どもたちに合ったより良い保育を心がけていただき、より素晴らしい幼稚園になることを期待しています。

○学校関係者評価

前母の会会長

現保護者会会長

元名古屋文化学園保育専門学校教員

園内研修(ピアノ・幼児音楽担当)

評価者

假屋 千秋 様

角谷 良子 様

加藤 洋子 様